(別紙2(2))

事業所名 グループホーム いきがい

作成日: 令和 7年 3月 20日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	8	以前から、どの職員も理解に乏しいが、実践で必要となる場面がなく、後回しになっている。	実践で必要とならなくても、基礎知識を習得し、いざとなれば対応できるよう準備し、ご家族、入居者の方々が安心できるようにしたい。	年間を通じ、配布した資料を少しずつ理解を深めて、必要時の準備をしていく。	12ヶ月
2	10	利用者、家族等からの意見収集に決まった方向はなく、意図的には実践できていない。	計画的に意見収集、取りまとめを行い今後の運営に役立てていきたい。	計画的な意見収集の場を設定し、定期的に意見の取りまとめ、その繁栄方法検討し実践する。	6ヶ月
3	20	利用者の入居以前の人、場所との繋がりが弱くなってきていると考えられる。	、馴染みの人や場所との関係を継続することでQOLの向上や認知症の進行防止に努める。	職員全員での利用者、家族からの情報収集を強化し共有することで、実践を計画、実行につなげる。	6ヶ月
4	26	介護支援専門員が一人で計画し書類を作成しているが現場で共有できていない。	職員全員が計画作成の協力と実施を行う。	利用者の担当職員への教育から始まり、計画作成の携わり方、モニタリングの実施による計画の見直し、実践と継続的な関りが実践できるよう経験と積んでいく。	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。